

観光学研究科 2026年度修士論文提出に関する事項について

1. 論文提出手順

「修士論文」の提出（本提出）にあたっては、研究成果を論文としてまとめた段階で提出（仮提出）し、主査ならびに副査による点検、加筆・修正等の最終的な指導を受けることを要する。

尚、特別修了（9月修了）希望者は、R Guide掲載の「必修科目の振替履修について」を確認し、期限までに教務事務センターへ申し出ること。

2. 論文作成書式（提出時期、注意事項）

(1) 仮提出および本提出に共通する論文作成書式

論文は、A4判でWORDを使用して作成し、PDF形式で保存したデータファイルを提出する。ただし、指導教員から特別の指示がある場合はこの限りではない。仮提出については、WORD形式で保存したデータも用意すること。いずれの場合も、本文に使用した用紙に、修了年度、論文題目、指導教員名、学生番号・氏名を明記した「表紙」（下記参照）をつけること。

表紙作成例

(表紙)

20**年度修士論文	
○○○○○○○○○○○○○○	← 論文題目
指導教員 ****	← 指導教員名
立教大学大学院観光学研究科博士課程前期課程 **UA****	
** **	← 提出者氏名

(2) 仮提出制度に関する注意

①仮提出の条件

この制度は、提出する論文の学術的水準をより高めることを目的として導入されているものであって、仮提出される論文は、点検・評価の対象となりうる状態に達していることを必須の条件とする。

②仮提出の提出時期、提出形態

提出時期：11月9日（月）9:00～10日（火）17:00とする。

「特別修了（9月修了）」希望者は5月7日（木）9:00～8日（金）17:00とする。

提出形態：A4判でWORDを使用して作成し、PDF形式で保存したデータファイルを提出する。

ただし、指導教員から特別の指示がある場合はこの限りではない。仮提出については、WORD形式で保存したデータも用意すること。

【PDF データについて】

原則として、表紙・目次・図表なども結合した1つのデータファイルで提出すること。ファイル容量は500MB以内とすること。PDFファイル全体において、レイアウトの崩れや図表・文字の欠落等の不具合がないかを提出前に必ず確認すること。

参考 RIKKYO PORTAL 掲載 Web ページ「文書を PDF/A 形式で保存する」

<https://portal.rikkyo.ac.jp/mc/faq/list-04#anc-01>

【ファイル名について】

提出する PDF のファイル名称は、「修論 学生番号 氏名（仮提出）西暦の日付」とする。

例：修論 25UA999A 立教太郎（仮提出）20261109

【提出方法】

Web上の「Canvas LMS」にPDFファイルをアップロードして提出すること。

提出期間内に限り、論文データは複数回提出することができる。ただし、最後に提出されたものが審査の対象となるため、提出（再提出）は各自の責任によって十分注意して行うこと。仮提出については、PDF版をアップロードに加えて、WORD版を主査、副査（2名）へメールで送付すること。主査、副査（2名）は仮提出期間後に発表する。なお、アップロードでのPDF版が正式な提出物であり、メールでのWORD版送付だけでは提出したと見なさないため注意すること。

③修士論文仮提出後、休学をした場合などは、復学後にあらためて仮提出を含め修士論文を提出する（審査を行う当該学期に必ず提出する）ことを原則とする。

(3) 本提出制度に関する注意

①本提出の提出時期、提出形態

提出時期：2027年1月13日（水）9:00～1月14日（木）17:00 とする。

「特別修了（9月修了）」希望者は7月9日（木）9:00～10日（金）17:00 とする。

提出形態：A4判でWORDを使用して作成し、PDF形式で保存したデータファイルを提出する。

ただし、指導教員から特別の指示がある場合はこの限りではない。

【PDF データについて】

原則として、表紙・目次・図表なども結合した1つのデータファイルで提出すること。ファイル容量は500MB以内とすること。PDFファイル全体において、レイアウトの崩れや図表・文字の欠落等の不具合がないかを提出前に必ず確認すること。

参考 RIKKYO PORTAL 掲載 Web ページ「文書を PDF/A 形式で保存する」

<https://portal.rikkyo.ac.jp/mc/faq/list-04#anc-01>

【ファイル名について】

提出する PDF のファイル名称は、「修論 学生番号 氏名（本提出）西暦の日付」とする。

例：修論 25UA999A 立教太郎（本提出）20270113

【提出方法】

Web上の「Canvas LMS」にPDFファイルをアップロードして提出すること。

提出期間内に限り、論文データは複数回提出することができる。ただし、最後に提出されたものが審査の対象となるため、提出（再提出）は各自の責任によって十分注意して行うこと。

②審査手数料の支払

所定の単位を修得した者が在学2年を超えて引き続き在学し、博士課程前期課程在学4年以内に修士論文を提出する場合は、論文審査手数料を納入する必要がある。

納入金額：¥15,000

納入方法：金融機関への振込（該当者には、論文提出後に大学から納付手続きについて連絡する）。

3. 審査・試験

(1) 修士論文発表会ならびに修士論文審査会および最終試験

「修士論文」提出者は、修士論文報告会において研究成果の概要を発表するとともに、修士論文審査会および最終試験に出席しなければならない。

修士論文発表会：2027年1月19日（火）

「特別修了（9月修了）」希望者は7月21日（火）

修士論文審査会および最終試験：2027年1月28日（木）・29日（金）

「特別修了（9月修了）」希望者は7月23日（木）・24日（金）

(2) 修士論文審査基準

論文審査は次の基準にもとづいて行う。

- 1.研究テーマが明確で独創性があること
- 2.研究内容と方法が明確であること
- 3.論文構成が適切で、論旨展開が論理的で明確であること
- 4.文献・史資料の引証や調査データの利用・提示が明確で適切であること
- 5.調査・研究に対して倫理的配慮がなされていること

以上